

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	OHANAサポートクラス		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムの充実	活動のプログラムが固定化しないように、毎月行う活動プログラムを職員で話し合い計画をしています。 季節に合わせた活動などを取り入れて、様々な内容のプログラムの立案・実施を行っています。	研修や勉強会などを通して、知識をつけ各々がお子様や保護者様のニーズに沿ったプログラムを実施できるようにしています。 お子様のレベルに合わせた声掛けなどを行うことで、本人の力が伸びるように支援を行っています。
2	食育を通じて児童の心と体、健康の維持	調理実習を通して食事への意欲を高め、食事の大切さや食べる楽しさを学ぶことが出来るよう支援を行っています。 児童に合わせた食事の提供を行い、食べることの出来るものが増えるような環境を整えています。	食事の際に本人の食べることの出来る食べ物をご家族と共有し、食事への拒否が少なくなるように支援体制を整えていけるようにしていきます。
3	多様な年齢との関わり	小学校1年生から高校3年生までの児童を預かっており、一緒に活動を行うことでかかわり方を学ぶことが出来るような環境を整えています。	地域の児童や、兄弟などを交えて行うことが出来るようなプログラムの立案・実施をしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの制限	借家であり、限られたスペースでの活動になってしまう。活動の場や、待機する場などを分け対応を行っています。	事故が起きないように適切な職員の配置を行い限られたスペースでも満足できるような見守りの体制などを整えていきます。 また、公園など広い場所で体を動かすことが出来る機会をつくっていきます。
2	保護者や地域の方の活用や地域住民との関わりが少ない。	様々な特性の子供がご利用しており集団での活動が負担になってしまうこともあるため、ご利用している児童負担を感じないようお出かけなどの機会を通して地域の方とかがわりが出来るようにしていきたいと考えています。 ご家族間でかかわることが出来るような家族会などを開くことが出来ればと考えています。	SSTやロールプレイを通して模擬的な練習の機会をつくり少しずつ地域の子供とかがわりの際の精神的な負担の軽減に努めていきます。 講演会などの機会を通し家族会などの場を提供していきます。
3	各種マニュアルの情報提供の薄さや、避難訓練などの情報発信が弱い。	事務所にて各種マニュアルをそろえています。 避難訓練などの様子を、お手紙やInstagramなどを通して発信していきたいと考えています。	お手紙などを通して避難訓練などの様子を伝えたり、写真などを通して保護者様が様子を把握しやすい様情報提供を行なっていきます。